

仕様一覧

仕様対象	※1 木造戸建住宅(土間納まり)		
サイズ	片開き	枠	※2 W970×H2373 重量：20Kg
		扉本体	DW922×DH2320×t45 重量：60Kg
		有効開口	W900
	親子	枠	※2 W1306×H2373 重量：25Kg
		扉本体	DW1262×DH2320×t45 重量：86Kg
		有効開口	W1240
材質	●枠	上枠・縦枠	溶融亜鉛メッキ銅板
		沓摺	ステンレス
		塗装	アクリル樹脂焼付塗装
	●扉	主部材	溶融亜鉛メッキ銅板
		塗装	アクリル樹脂焼付塗装
		内部	水酸化アルミ無機シート
	●気密剤	主部材：室外側	EPDM
	●ネジ	枠用 室外側	トラスタッピン小ネジ M4x30（ユニクロメッキ）
		枠用 室内側	皿木ネジ M3.5x32（ステンレス）
		額縁用	皿木ネジ M3.5x20（ステンレス）
部材	●ハンドル	ゴール PY-GOU	
	●シリンドー	ゴール V-LDK5TME	
	●ドアクローザー	リョービ D1003P/20AT	
	●ドアガード	リョービ RH-304N	
基本性能	●防火性		特定防火設備（平成12年建設省告示1369号適合）
	●遮煙性		昭和48年建設省告示2564号適合
	●気密性		A-4等級
	●水密性	※3	－（水密ドアではありません）
	●耐風圧性	※3	S-6等級
	●断熱性	※3	2.95W/m2・K（JIS A 2102-1）
		※4	省エネ基準（2025年基準）4～7地域適合

- ※1 玄関ドアの扉の構造上、底のない状態で使用すると、扉上部に水滴が溜ったり、室内に水が浸入する場合があります。玄関底や軒があり、扉上部に水がかからない状態での設置を行い、雨ざらしの状態にならないようお願いします。
- ※2 枠寸法は枠外寸法になります。実際の取付寸法はクリアランスを6 ミリ程度設けてください。
- ※3 表示している性能値は片開き仕様のものです。親子ドアも同様の構造ですが、性能試験は実施していません。
- ※4 地域8については仕様基準での玄関ドアに対する性能基準は求められていません。

玄関ドアの性能とJIS基準について

気密性

窓やドアのすき間からどの程度の空気の出入りがあるかを示す性能



気密性

風が吹くと室内外に気圧差が生じ、気密部品の接触部分からすき間風が生じます。このすき間風を規制する性能を気密性能といいます。窓・ドアのすき間から出入りする空気の量が少ない方が性能が良いということになります。

JIS等級	気密等級線	参考：サッシ・ドアなど
A-1	A-1等級線	室内建具など
A-2	A-2等級線	室内建具など
A-3	A-3等級線	一般サッシ・ドア
A-4	A-4等級線	断熱・防音サッシ・ドア

JIS A 1516準拠

水密性

屋内への雨水浸入をどの程度防げるかを示す性能



水密性

水密性能とは、窓の屋内への雨水浸入をどの程度防げるかを示す性能です。玄関ドアは一般的に居室に使用されるサッシと同等の水密性は要求されていません。

JIS等級	圧力差	参考：サッシ・ドアなど
W-1	100Pa	風速 9～15m/sに該当
W-2	150Pa	風速11～19m/sに該当
W-3	250Pa	風速14～24m/sに該当
W-4	350Pa	風速16～29m/sに該当
W-5	500Pa	風速20～35m/sに該当

JIS A 1517準拠

耐風圧性

強風など内外からの力に対してどの程度耐えられるかを示す性能



耐風圧

耐風圧性とは、窓やドアがどれくらいの風圧に耐えられるかを表す性能のことです。台風などの強風によってドアが変形したり、脱落することがないようにするために非常に大切な性能です。面積1㎡当たりの風圧に耐えられるかを基準とした等級で示しています。

JIS等級	等級との対応値	参考：風速換算値	階高	高さ	風圧力	対応するJIS等級
S-1	800Pa	風速36m/sに該当	1F	約3M	800Pa	S-1
S-2	1,200Pa	風速44m/sに該当	2F	約6M	1,200Pa	S-2
S-3	1,600Pa	風速51m/sに該当	3F	約9M	1,600Pa	S-3
S-4	2,000Pa	風速57m/sに該当				
S-5	2,400Pa	風速62m/sに該当				
S-6	2,800Pa	風速67m/sに該当				
S-7	3,600Pa	風速76m/sに該当				

JIS A 1515準拠

断熱性

屋内の熱移動をどれくらい抑えることができるかを示す性能

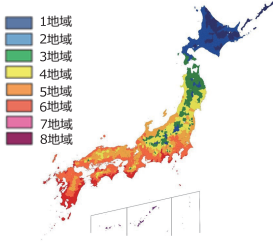


断熱性

断熱タイプのベリドールは、夏涼しく、冬暖か1年を快適に過ごしながら、省エネ効果も期待できます。

省エネ基準
(2025年基準)
4～7地域適合

熱貫流率
2.95
W/m2・K以下



※最新の省エネ基準地域区分は国交省資料をご確認ください。

JIS A 2102-1,-2準拠